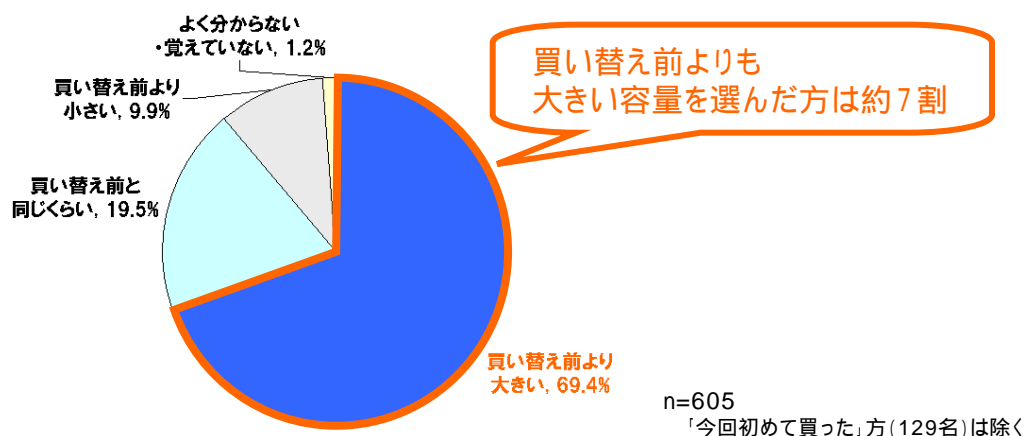


# 1 冷蔵庫は大容量化、省エネ性も向上

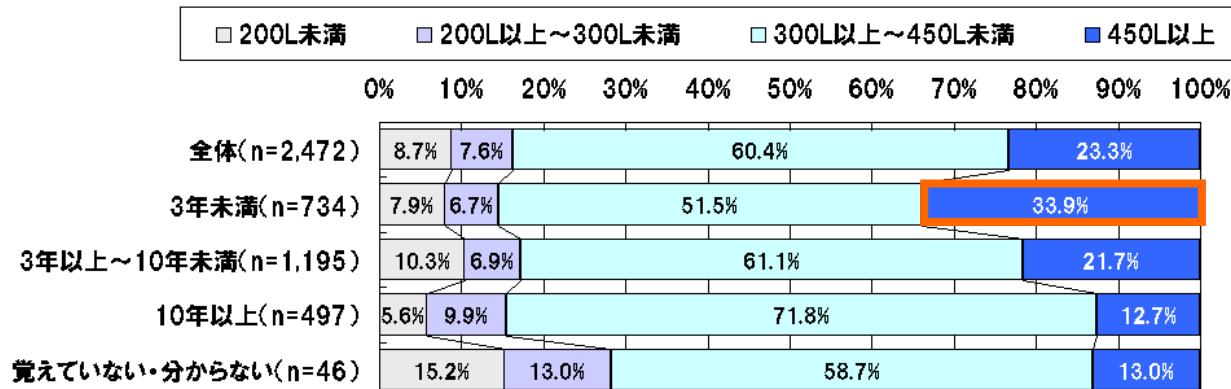
- ・冷蔵庫を購入して3年未満の方のうち、容量を「前より大きくした」方は約7割。購入した冷蔵庫の3割強が450L以上の大容量タイプ。
- ・冷蔵庫を購入して3年未満の方の家族人数別の冷蔵庫容量をみると、一般的に言われる「家族人数あたりの目安容量」よりも大きい容量の冷蔵庫を購入している割合が高く、特に2～3人家族においてはその割合は7割を超える。
- ・買い替え前より大きい容量を選んだ理由としては、容量への不満、利便性、家族人数の増加に次いで、容量の大きさだけでなく省エネ性も考慮したという理由を挙げる割合が3割強を占める。

## (1) 冷蔵庫を購入して3年未満の方の買い替え前後の庫内容量の変化



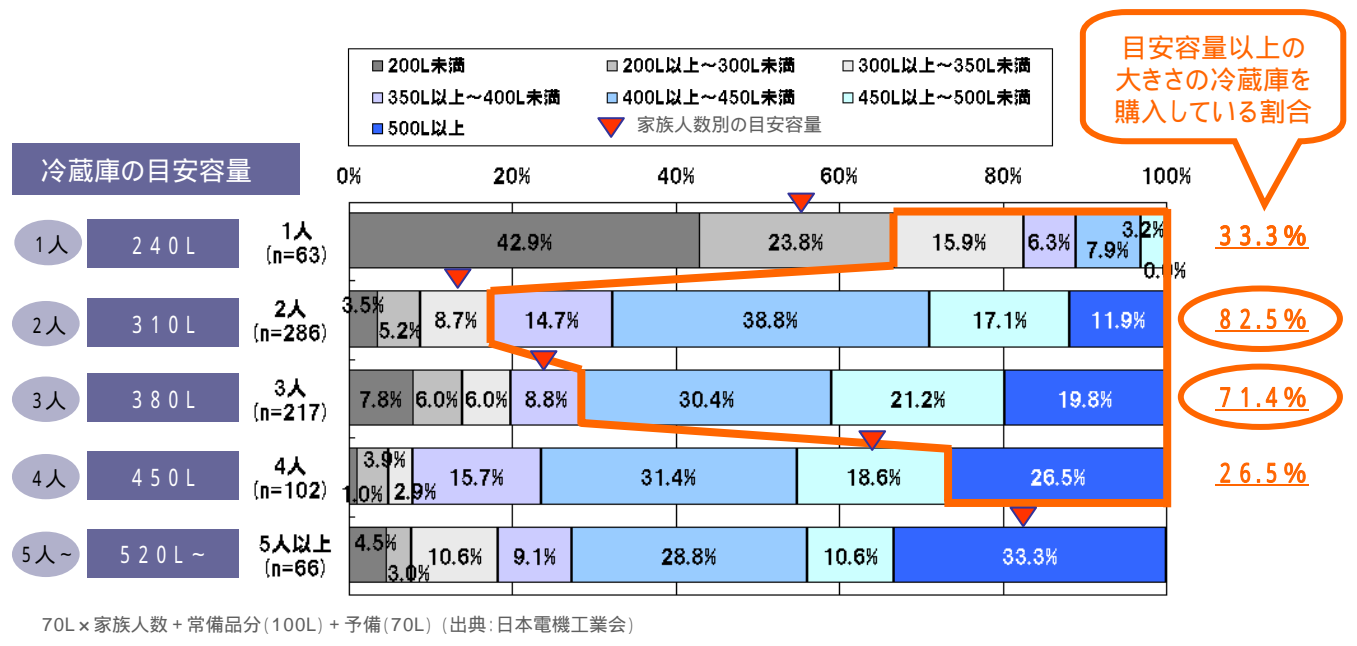
冷蔵庫を購入して3年未満の方の買い替え前後での庫内容量の変化をみると、「前より大きくした」は約7割を占める。

## (2) 現在使用している冷蔵庫の庫内容量と使用年数の関係



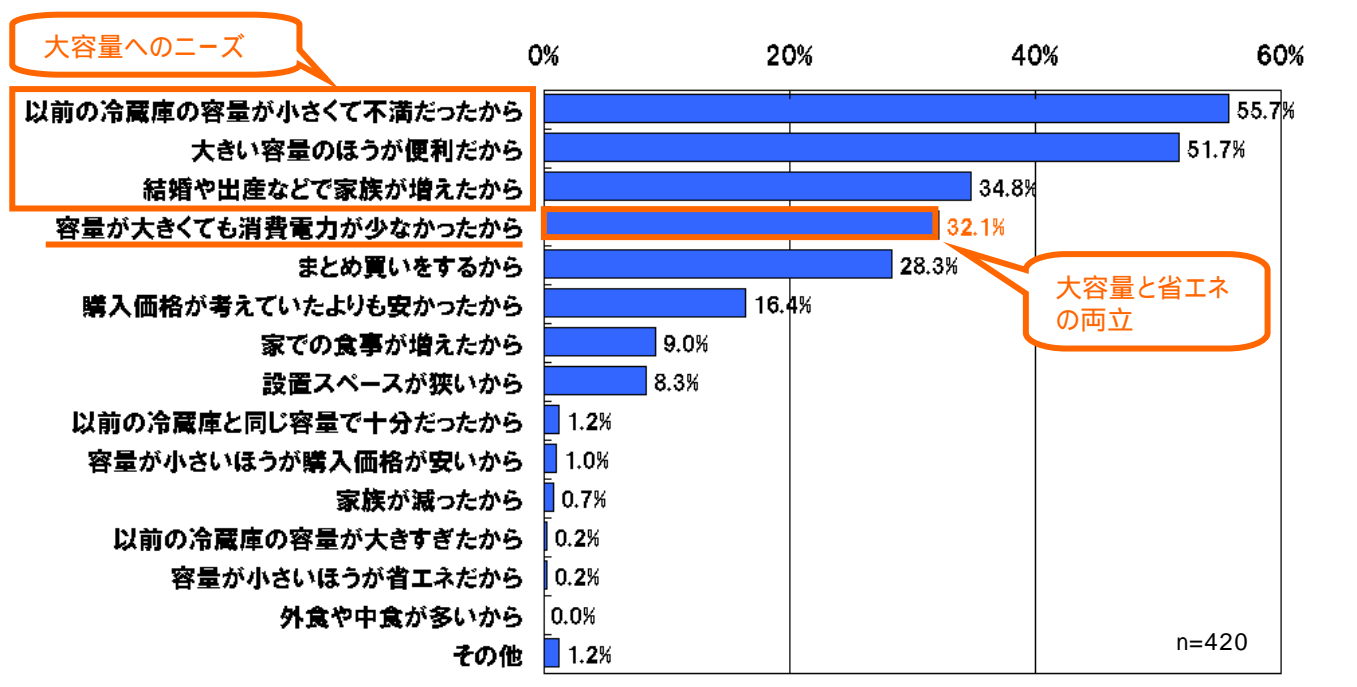
冷蔵庫を購入して3年未満の方の3割強が450L以上の大容量を選んでいる。

(3) 冷蔵庫を購入して3年未満の方の目安容量(家族人数別)と実際の庫内容量との比較



特に2~3人家族では、目安容量より大きい容量の冷蔵庫を購入している割合が7割以上と高い。

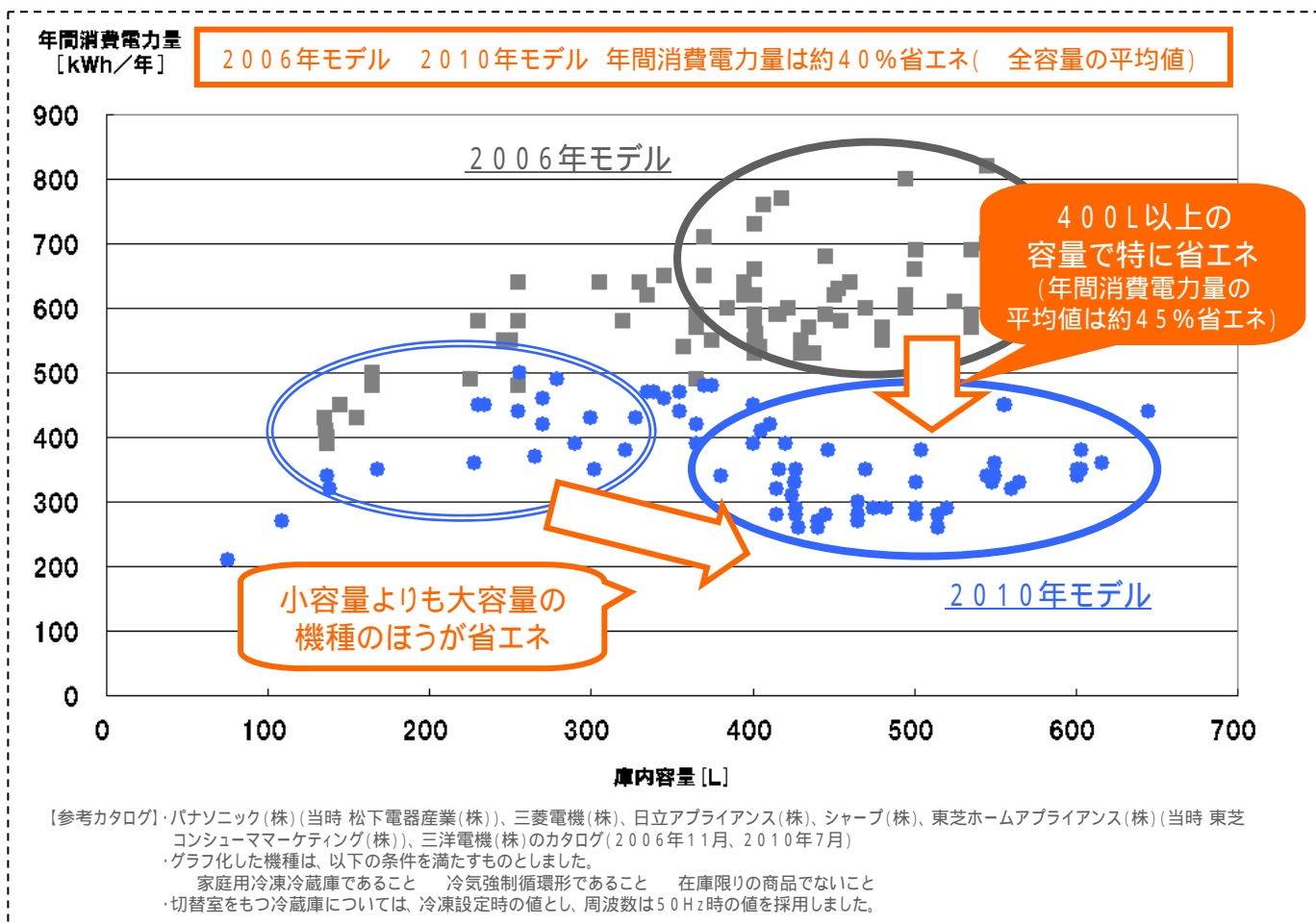
(4) 冷蔵庫を購入して3年未満の方の買い替え前より大きい容量の冷蔵庫を選んだ理由



冷蔵庫を購入して3年未満の方のうち、買い替え前より大きい容量を選んだ理由としては、容量への不満、利便性、家族人数の増加に次いで、「容量が大きくても消費電力が少なかったから」という理由を挙げる割合が3割強を占める。容量の大きさだけでなく、省エネ性も考慮して選んでいる方も多い。

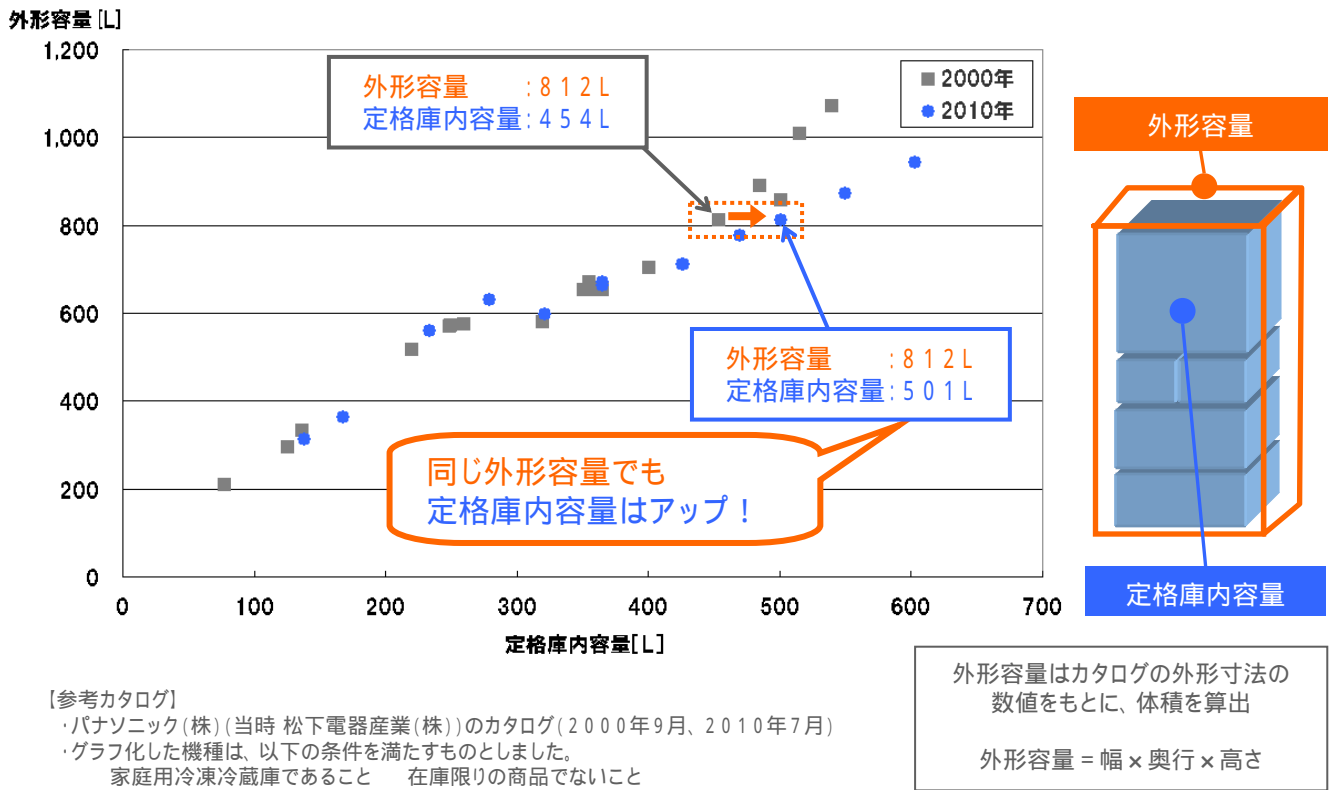
- ・メーカーカタログにもとづき、最新の2010年モデルと2006年モデルの年間消費電力量を比較すると、約40%省エネ(全体容量の平均値)になっており、さらに最新機種(2010年モデル)の中では小容量タイプよりもむしろ大容量タイプの方が全体的に省エネになっている機種が多い。冷蔵庫の性能に大きく影響するヒートポンプの省エネ設計・省エネ運転や断熱材の性能向上などにより、冷蔵庫は大容量化しているが、省エネ性も向上している。
- ・最新機種では、以前の機種に比べて同じ外形容量でも庫内容量が増加している機種もあることから、設置スペース上の制約がある場合でも、現在よりも大きい容量を選べる可能性がある。

(5) 冷蔵庫の庫内容量と年間消費電力量の比較(2006年モデルと2010年モデル)



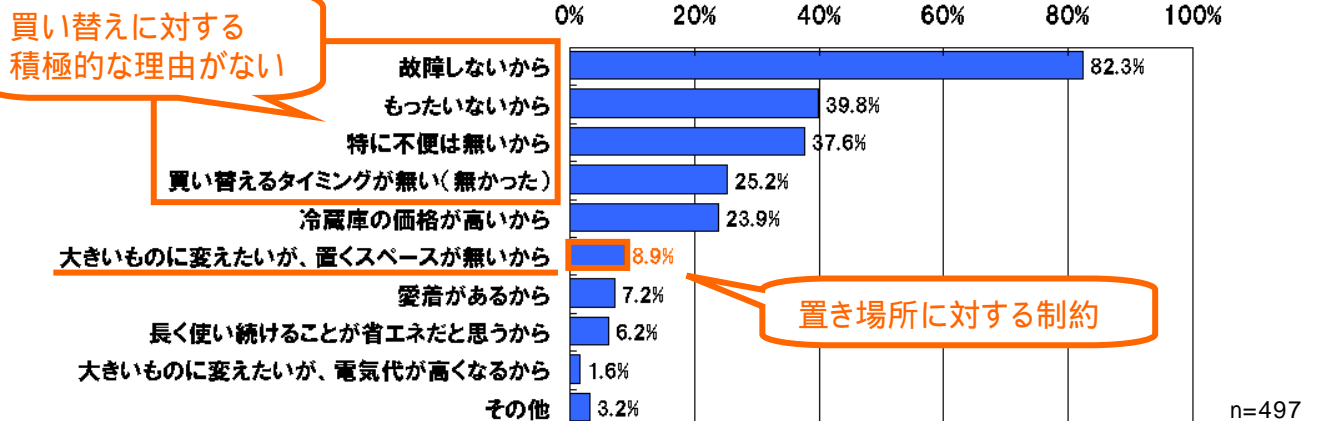
メーカーカタログにもとづき、最新の2010年モデルと2006年モデルの年間消費電力量を比較すると、約40%省エネ(全体容量の平均値)になっており、400L以上の容量で特に省エネが進んでいる(年間消費電力量の平均値は約45%省エネ)。また、最新機種の中では小容量タイプよりもむしろ大容量タイプのほうが省エネになっている機種が多い。

(6) 冷蔵庫の外形容量と定格庫内容量の関係(2000年モデルと2010年モデルの比較)



同じ外形容量で最新機種と以前の機種を比較すると、庫内容量は最新機種のほうが大きい機種もある。同じ設置スペースでも買い替えによる容量アップが可能な場合も。

(7) 現在の冷蔵庫を10年以上使用している(買い替えていない)理由



冷蔵庫を10年以上買い替えていない理由の多くは、「故障しないから」、「もったいないから」など買い替えに対する積極的な理由がないことに起因する。一方で、置き場所に対する制約として、「大きい容量のものに変えたいが、設置するスペースがないから」という理由は約1割。